

**製品名: GI Syn ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab11457**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	42kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GLUL
別名	GLUL; GLNS; Glutamine synthetase; GS; Glutamate decarboxylase; Glutamate--ammonia ligase
遺伝子 ID	2752.0
SwissProt ID	P15104
免疫原	抗血清はヒト GI Syn 由来の合成ペプチドに対して産生された。アミノ酸範囲: 295-344

**背景**

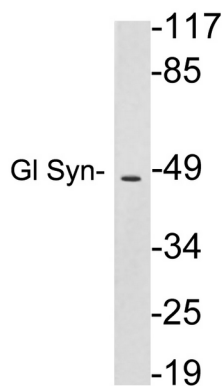
この遺伝子によってコードされるタンパク質はグルタミン合成酵素ファミリーに属し、ATP 依存性反応においてグルタミン酸とアン

モニアからグルタミンを合成する触媒作用を担います。このタンパク質は、アンモニアおよびグルタミン酸の解毒、酸塩基恒常性、細胞シグナル伝達、および細胞増殖において重要な役割を果たします。グルタミンは豊富なアミノ酸であり、いくつかのアミノ酸、ピリミジン、プリン の生合成に重要です。この遺伝子の変異は先天性グルタミン欠乏症と関連しており、一部の原発性肝癌検体ではこの遺伝子の過剰発現が観察されています。この遺伝子には、2番、5番、9番、11番、および12番染色体に6つの偽遺伝子が存在します。選択的スプライシングによって、複数の転写産物バリエーションが生じます。 [RefSeq 提供、2014年12月],触媒活性:  $ATP + L\text{-グルタミン酸} + NH(3) = ADP + \text{リン酸} + L\text{-グルタミン}$ .,疾患: グルタミン合成酵素 (GLUL) の欠陥は、先天性全身性グルタミン欠乏症 (CSGD) [MIM:610015]の原因です。CSGDは、重度の脳奇形を伴う稀な発達障害であり、多臓器不全および新生児死亡につながります。罹患患者の血清、尿、脳脊髄液にはグルタミンがほとんど含まれていません。 ,オンライン情報: グルタミン合成酵素の項目,類似性: グルタミン合成酵素ファミリーに属する。 ,サブユニット: ホモ八量体,

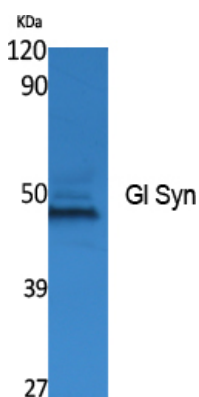
## 研究分野

アラニン、アスパラギン酸およびグルタミン酸代謝、アルギニンおよびプロリン代謝、窒素代謝

## 画像データ



Gl Syn 抗体を使用した HepG2 細胞の溶解物のウェスタンブロット分析。



Gl Syn ポリクローナル抗体を用いた K562 細胞抽出物のウェスタンブロット分析。二次抗体は 1:20000 に希釈された。